

実感する、ハーブサイエンスへ。



SUZUKI HERB
LABORATORY

鈴木ハーブ研究所

シティプロモーションアワード2025



会社名	株式会社鈴木ハーブ研究所
本社所在地	茨城県那珂郡東海村村松2461
設立年月	2004年9月17日
代表者名	鈴木 さちよ
事業内容	スキンケア化粧品の研究開発・販売
販路	自社HP・Amazon・楽天など
従業員数	45名





商品ラインナップ





自然を尊ぶ
社会を尊ぶ
仕事を尊ぶ



ハーブに学び続け
鈴木ハーブ研究所を世界で一番望ましい企業に育てる
～未来からほほえみかけられる会社へ～



シティプロモーションのKGI

ハーブを活かして、私たちと関わる全てが Well-being に

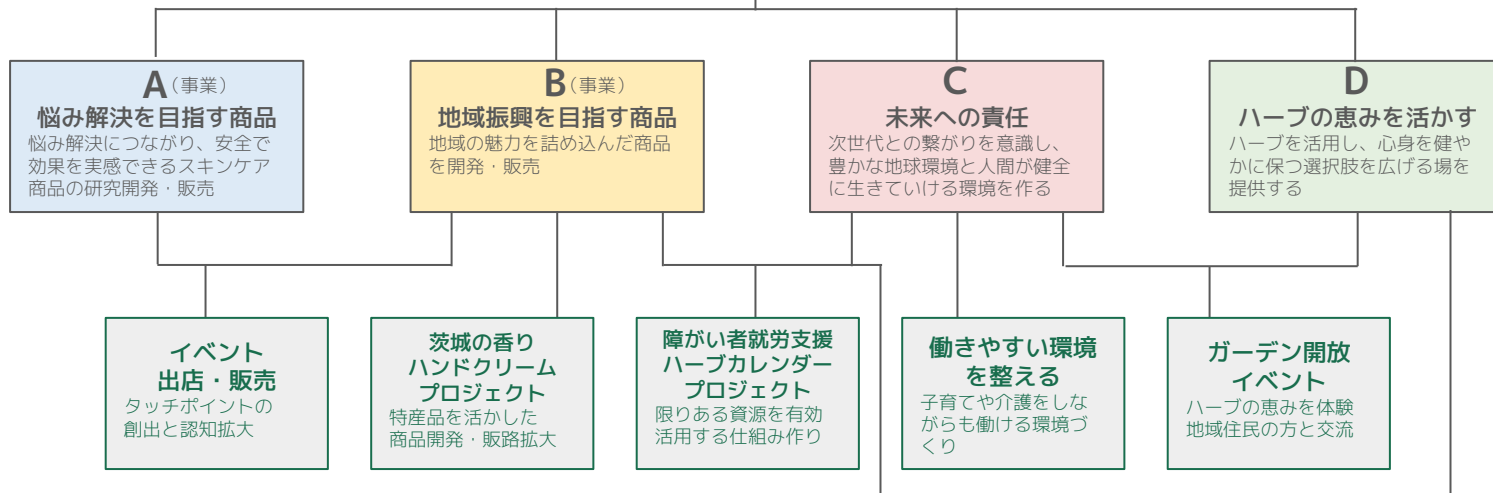


シティプロモーションのKGI

ハーブを活かして、私たちと関わる全てが Well-being に

茨城県が魅力的だと思えること
(場所・事象・物)の認知拡大

働きやすい環境を整え
雇用を創出する





シティプロモーションのKGI

ハーブを活かして、私たちと関わる全てが Well-being に

広告換算費

茨城県が魅力的だと思えること
(場所・事象・物)の認知拡大

働きやすい環境を整え
雇用を創出する

茨城県内の
雇用人数

A (事業)

悩み解決を目指す商品
悩み解決につながり、安全で
効果を実感できるスキンケア
商品の研究開発・販売

B (事業)

地域振興を目指す商品
地域の魅力を詰め込んだ商品
を開発・販売

C

未来への責任
次世代との繋がりを意識し、
豊かな地球環境と人間が健全
に生きていける環境を作る

D

ハーブの恵みを活かす
ハーブを活用し、心身を健や
かに保つ選択肢を広げる場を
提供する

イベント
出店・販売
タッチポイントの
創出と認知拡大

イベント実施数

茨城の香り
ハンドクリーム
プロジェクト
特産品を活かした
商品開発・販路拡大

新規販路獲得数

障がい者就労支援
ハーブカレンダー
プロジェクト
限りある資源を有効
活用する仕組み作り

今件に関する
広告換算費

働きやすい環境
を整える
子育てや介護をしな
がらも働ける環境づ
くり

客観的評価
内部アンケート

ガーデン開放
イベント
ハーブの恵みを体験
地域住民の方と交流

来場者数



シティプロモーションのKGI

ハーブを活かして、私たちと関わる全てが Well-being に

茨城県が魅力的だと
思えること（場所・事象・物）
の認知拡大

働きやすい環境を整え
雇用を創出する



タ
ー
ゲ
ッ
ト

①茨城県内に居住する方・茨城県に縁がある方

②日本国内に住む30代～40代
子育て中の女性とそのお子さま



鈴木ハーブ研究所 シティプロモーション全体概要

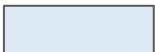


シティプロモーションのKGI

ハーブを活かして、私たちと関わる全てが Well-being に

弊社がKGIに向けて行った具体的な実施内容は多岐に渡ります。

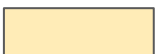
A



悩み解決を目指す商品

悩み解決につながり、安全で効果を実感できるスキンケア商品の研究開発・販売

B



地域振興を目指す商品

地域の魅力を詰め込んだ商品を開発・販売

C



未来への責任

次世代との繋がりを意識し、豊かな地球環境と人間が健全に生きていける環境を作る

D



ハーブの恵みを活かす

ハーブを活用し、心身を健やかに保つ選択肢を広げる場を提供する

B			A+B	A
茨城の香り ハンドクリームシリーズ 商品開発・販売 茨城県産 原料の調査 蓮の花ハンドクリームクラウドファンディング 地球の歩き方 茨城への地域コスメ掲載			イベント出店・販売 フローラ薬局との取り組み 地元スポーツチーム オフィシャルグッズ開発	新商品開発 既存商品バージョンアップ 各種モールへの出店 フローラ薬局パッチテストの実施 キャラクターマーケティング「つるべん」
B+D	B+C+D	B+C		
水戸市中央高齢者支援センター 認知症ご本人さまの集い ワークショップ	障がい者就労支援 ハーブのイラストカレンダー ディレクション・販売	納豆シリーズパッケージグッドデザイン受賞 納豆シリーズパッケージいばらきデザインセレクション選定受賞 茨城県内432局郵便局での ハンドクリームの販売 Challenge local cool JAPAN in PARIS		
D	C+D	C	A+C	
SPA & ごはん ゆるうむ サウナでのハーブ活用 水戸芸術館 アートプロジェクト ハーブの提供 ふるさと納税返礼品登録 救民妙薬 現代版の作成 ハーブ辞典 ガーデン開放	オープンガーデン 東海村社会福祉協議会 東海村総合福祉センター「絆」ママさん向けワークショップ 東海村中学生 職業体験受け入れ 東海村 子どもキャンパス受け入れ 東海村 エンジョイサマースクール 受け入れ 私のハーバル手帳寄贈 常磐高校 ボランティア活動場所の提供 ハーブ染ワークショップ 学童児童ワークショップ受け入れ	富良野自然塾の開催 茨城県ダイバーシティモデル企業選出 寄附講座への登壇 地域活動への協賛 高校生 いばたん取材協力 親子出勤 東海村男女共同参画事業所認定 iPASSへの参加 trick or curryの実施 寄附やボランティアへの参加 企業間の連携 健康経営優良法人認定	詰め替え用エコバック開発 大学生インターンシップ 経済的困難下の女性へ化粧品寄贈 家政学会発表 UVケア商品 紫外線吸収剤の不使用 産地貢献および産地の資源保護 FSC®森林認証紙の使用	



～事例紹介～ A:肌悩み解決を目指す商品（事業）

① キャラクターマーケティング『つるぺん』



② 県内の薬局でパッチテストが可



③ イベントへの出店





～事例紹介～ B:地域振興 × 商品（事業）

① 特産品を活かしたハンドクリームの開発・販売



桜川市（筑波山麓）

SUZUKI HERB LABORATORY
茨城県の香り ハンドクリームシリーズ
～ 茨城の香りで心地よい毎日を ～



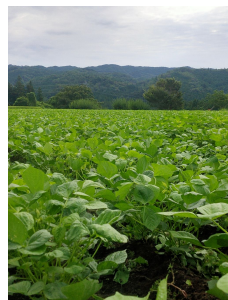
水戸市（偕楽園）



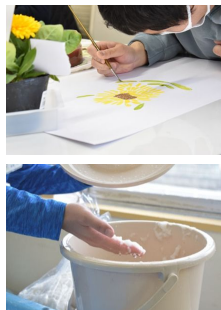
土浦市



② 一部原料の県産品利用・筑波大との産学連携



③ 障がい者就労支援ハーブカレンダー





～事例紹介～ C:未来への責任

① 富良野自然塾の開催



② 茨城県ダイバーシティモデル企業選出



日東電気グループ



株式会社鈴木ハーブ研究所



株式会社ライフサポート山野



鈴鋳工業株式会社



学生リポーターの皆さんに
聞きました

③ 寄付講座への登壇



④ 子ども向けワークショップの開催





～事例紹介～ D:ハーブの恵みを活かす

① ハーブガーデン無料解放



③ 認知症の方に向けてのワークショップの実施



② 鈴木ハーブ研究所版 救民妙薬の作成～無料配布



④ 浴用施設でのハーブ活用 (SPA&ごはん ゆるうむ様)





① 親子出勤



② エンジョイサマースクールへの参加



③ 姉妹都市交流の受け入れ



④ 東海村シティプロモーション会議への参加





シティプロモーションが企業PRへ

広告換算費計：¥5,317,298

※弊社基準重点媒体の換算費

【アワード初の民間受賞】鈴木ハーブ研究所 シティプロモーションアワード2025「審査員特別賞」受賞

～ 官民連携の新モデルを提示、民間ならではの強みを生かした地域活動が評価 ～

株式会社 鈴木ハーブ研究所 2026年2月6日 15時40分



株式会社鈴木ハーブ研究所は、シティプロモーションアワード2025において、「審査員特別賞」を受賞しました。地方自治体の受賞がメインとなる本アワードで、民間企業の受賞は史上初となります。2026年1月29日(木)、時事通信ホールにて開催されたシティプロモーションサミット内での受賞式には、弊社代表取締役社長の鈴木さちよが登壇しました。



(画像左から) 審査委員長 東海大学名誉教授 河井孝仁氏と弊社代表取締役社長 鈴木さちよ

今回受賞した「審査員特別賞」は、アワード内で特に注目すべき点をもつ取り組みを行う団体に贈られる賞です。審査員の皆さまからは、「民間企業ならではの機動力と熱意で地域を巻き込んでいる点が極めて優秀。民間がシティプロモーションの主体的なプレイヤーとして確立できることを証明しており、今後の官民連携の新たなモデルを示している」との評価をいただきました。

鈴木ハーブ研究所が東海村山田村長を表敬訪問 民間企業初のアワード受賞を報告

～ シティプロモーションアワード「審査員特別賞」受賞 昨年の東海村金貨に続く～

株式会社 鈴木ハーブ研究所 2026年3月12日 10時00分



株式会社鈴木ハーブ研究所は、民間企業初となるシティプロモーションアワード受賞報告のため、2026年3月3日(火)に茨城県東海村 山田修村長を表敬訪問いたしました。

昨年の東海村の金貨受賞に続く嬉しいご報告と、今回の受賞に至った取り組みの内容、これからの意気込みなどをお話いたしました。



▲弊社代表取締役社長 鈴木さちよ (画像左)、東海村 山田修村長 (画像右)

3/12発信 村長表敬訪問報告リリース
→転載27件、WEB記事化1件
広告換算費計：¥1,634,638

2/6発信 受賞報告リリース
→転載32件、WEB記事化1件
広告換算費計：¥2,493,126

地域

A版

第三種郵便物認可

茨城

鈴木ハーブ研究所が受賞

東海村の山田修村長(右)に「シティプロモーションアワード2025」での受賞報告をした鈴木ハーブ研究所の鈴木さちよ社長(右から2人目)ら＝同村役場

優れたシティプロモーションの取り組みを顕彰するシティプロモーションアワード2025「同アワード審査員特別賞」で、初エントリーで審査員特別賞を受賞した鈴木ハーブ研究所(東海村)の鈴木さちよ社長(58)が3日、同村役場を訪れ、山田修村長に報告し、喜びを分かち合った。同アワードは日本経済団体連合会が事務局として運営し、21年から行われている。5回目となる今回の審査結果発表は、1月29日に東京都内で行われた。前回金貨を受賞した同村を含む、これまで

シティプロモーションアワード

では自治体が選ばれることが多く、民間企業の受賞は初めてです。

同社は2004年の創業以来、村に拠点を置いてハーブなどを原料にしたスキンケア化粧品品の企画開発、販売事業を手がける。アワードでは、地域貢献の企業理念を踏まえた活動実績を「ターゲットとシグナル」で明確に説明した。

訪問には、審査を受ける資格作成を担当した広報・PR担当の田中真代さん(44)、正田美奈さん(31)も出席。山田村長が「企業の事業活動の中でシティプロモーションというのはイメージしづらいところもあるが、一と正当な評価を受けた快挙をたたえ、鈴木社長は、もともと通じ合うよう発想で企業活動をしてきた。ただ、ロジックを整理し、資料に落とし込んでくれたのは(田中さん)社員の奮闘のおかげ」と話した。

(佐田友一)

3/9 (月) Jway ¥558,516
3/14 (土) 茨城新聞 ¥965,546
5/10 (日) 広報とうかい (予定)
10月末発刊 CROSS T&T (予定)



～最後に～

今後について

現在、沢山の方にご愛顧いただいているおかげで、
30000名以上の方が弊社の定期会員としてご登録いただいております。

弊社との接点・お取引をきっかけに、東海村・茨城県の素晴らしさや魅力を伝えていくことを継続し、
東海村や茨城県の魅力を伝える代表的な企業を目指します。

また、今後は国内だけではなく、海外でのお取引も増やしていけるよう準備を進めています。
海外の方に向けては、東海村・茨城県の素晴らしさや魅力に加え、
日本の素晴らしさや魅力を伝えていきます。

～ 企業と地域社会の共生モデルとなり、未来からほほえみかけられる会社へ ～

実感する、ハーブサイエンスへ。



SUZUKI HERB
LABORATORY

資料 : https://docs.google.com/presentation/d/1lxhgYkSBuMS_4KjXCpGavlSa3oi0Do7X6mB7f5izYo/edit?usp=sharing